

2009年度

科目名	文化財科学 I (分析科学)		
担当教員	三辻 利一		
配当	文財2	コード	53540
開期	前期	講時	金曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	考古学とは何か		
目的と概要	地下に埋もれている遺跡・遺物は人類の活動の跡を止める唯一の物的証拠である。人類の過去を再現しようとすると、遺跡・遺物が出発点となる。遺跡・遺物を如何にして発掘、整理し、そこから、如何にして過去を再現するか、それが考古学の果たす役割である。世界各地の典型的な遺跡の発掘の結果を紹介するとともに、自然科学の方法を導入した、日本における新しい土器の考古学の道を探る。		
成績評価法	各テーマについて、数回レポートを提出させる。		
テキスト	とくになし。		
参考書	講義の都度、文献、参考書を紹介する。		
履修に当たっての注意・助言	講義中、質問や対話を要求する。		
講義計画			
第1回	文化財科学と考古科学		
第2回	古代エジプト文明(1) ピラミッド		
第3回	古代エジプト文明(2) ミイラ		
第4回	古代エジプト文明(3) ヒエログリフ		
第5回	古代エジプト文明(4) ツタンカーメン王墓の発掘		
第6回	古代エジプト文明(5) 古代エジプト3000年の歴史		
第7回	メソポタミア文明(1) 楔形文字の発見と解読		
第8回	メソポタミア文明(2) メソポタミアの遺跡発掘とシュメール文明の発見		
第9回	古代の数学		
第10回	シュリーマンのトロイ遺跡の発掘		
第11回	ポンペイ遺跡の発掘		
第12回	秦・始皇帝の遺跡の発掘		
第13回	魏志倭人伝の世界		
第14回	宋書倭国伝と倭の五王		
第15回	新しい土器の考古学、型式学と胎土分析		